学 校 だ よ り

〈令和８年　９月３０日発行〉

明治３年３月３日創立

立川市立第一小学校

校　長　　菊池　修

【 学校教育目標 】

○　自分で考え　行動する子

◎　心豊かで　思いやりのある子

○　体をきたえ　元気な子

コミュニティ・スクール「家庭・地域とともに歩む教育活動の推進」

〒190-0023 立川市柴崎町２丁目 20 番３号

TEL　042－523－4428

042－522－2114（あおぞら学級）

FAX　042－529－0840

URL　https://www.tachikawa-edu.jp/es01/

第一小学校の研究活動

校長　菊池　修

第一小学校の教員は校内研究という研究活動をしています。どこの学校でもテーマを決めて教員の指導力向上のために研究活動を行っています。第一小学校の校内研究の今年のテーマは「児童の思考力・判断力・表現力の育成」です。

思考力・判断力・表現力を身に付けるには、まず課題を見付ける力が必要になってきます。学校での授業ではもちろんのことですが、日常生活の中でもたくさんの「？」（何だろう・なぜだろう）や「！」（そうか・なるほど）が子どもたちにあるはずです。子どもたちの「？」や「！」は大人にとってはごく当たり前のことだったり、現実的ではない考えだったりするかもしれません。大人がすぐに説明してあげればすぐに解決することですが、自分の方法で、自分のペースで解決していくことも必要なことがあります。自分の力で解決できたとき、子どもはさらに新しい課題を見付けることになります。学校の授業では、子どもたちが課題を見付けるときに、ある程度交通整理をしてあげる必要があります。学習内容や教材の特性に合ったものかどうかという点でかけ離れてしまっている場合は、ある程度導いてあげる必要があります。その繰り返しで、子どもたちはその学習に合った、また自分に合った課題を見付けられるようになっていきます。

課題を解決する力を育成する指導でも、教師は指導者でありコーディネーターである必要があります。ただインターネットで検索して、正しい情報かどうかわからないまま書き写すでは解決にならないので、ここでも軌道修正が必要な場合は指導や支援が必要になってきます。そういう学習を繰り返していくことで課題解決する力、そして思考力・判断力・表現力が次第に身に付いていくと考えます。校内研究ではその力を身に付けさせるための効率的な指導の方法を研究しています。

ご家庭でも、子どもたちの「？」や「！」を大切にしてください。時には一緒になって考えてあげることも大事だと思います。他の人の学びを見たり聞いたりして、そこから自分の学びにするということも大切です。今使われている言葉では「対話的な学び」「協働的な学び」というところにつながります。

一回の授業や、一つの手立てですぐに変わることではありませんが、今の子どもたちが明日かもしれないし、何年か先かもしれませんが、その力が身に付いたことを実感できたとしたら、研究の成果と考えます。第一小学校の先生たちも頑張っています。